

広報

やさと



ちびっ子たちが元気に豆まき

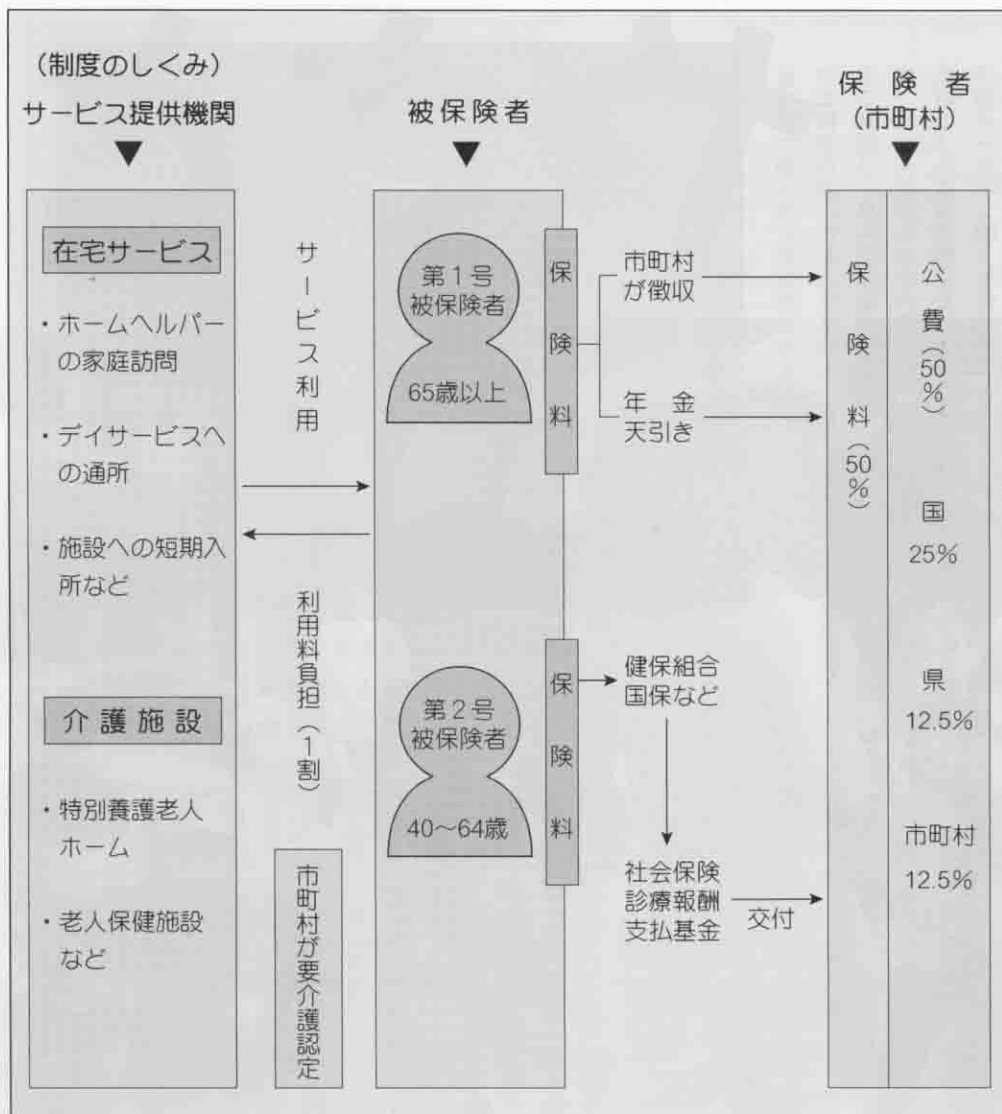
2月3日は節分。ここ林保育所でも、豆まきが行われました。子どもたちは保母さんから節分についての話を聞いたり、豆まきのスライドを見てから、豆をもらって運動場へ。そこへどこからともなく鬼が現れ、子どもたちはびっくり。最初はとまどっていましたが、そのうち夢中になって鬼めがけて豆をぶつけ、泣き虫鬼や弱虫鬼を追い払いました。

1998

2

NO.512

介護保険制度とはどんなもの



平成十二年(西暦二〇〇〇年)四月から介護保険制度がスタートします。

少子高齢化がすすみ、高齢者が安心して暮らせる福祉社会を築いていくために、国や地方の財政負担はしだいに大きくなっています。介護保険制度は、寝たきりや痴呆の高齢者の介護サービスを、四十歳以上の国民の保険料負担と国や地方の公費負担によって支えていく公的介護保険制度です。これからますます介護需要が増えていく中で、在宅福祉を充実させるための画期的な制度として期待されています。介護保険制度のスタートを前に、そのしくみを紹介しながら、運営主体となる市町村の課題や一人ひとりの負担はどうなるのかなどを探ってみることにしました。

運営するのは？

介護保険制度の運営主体は、町になります。

加入者は、四十歳以上の人すべてです。六十五歳以上(第一号被保険者)と四十歳から六十四歳まで(第二号被保険者)に区分されます。

保険給付の対象となるのは、六十五歳以上で町が介護の必要があると認定した方、また四十歳から六十四歳で若年性痴呆や脳血管

障害など、老化が原因で介護が必要になった方です。

申請や判定は

どのように？

介護サービスを受けたい高齢者やその家族は、町役場の福祉担当窓口に申請します。申請後、町の職員かまたは町から委託された介護支援専門員(ケアマネジャー)が、聞き取り調査をするために自宅を訪問します。

調査員は、本人または家族から

聞き取りにより、日常の生活動作や行動などに関して七十三項目にわたり、それぞれの程度を記録します。このデータをコンピュータに入れて、一次判定が行われます。これと同時にかかりつけの医師から、医学的な意見書を提出してもらいます。かかりつけの医師がいない場合は、町が指定する医師の診察を受けて意見書を書いてもらうようになります。

一次判定の結果と意見書をもとに、町あるいは広域などで設置された介護認定審査会において「要介護・要支援」または「介護を必要としないか最終判定（二次判定）が行われます。

介護が必要な場合、状態によって六段階に分けてサービスの程度が判定されます。

介護認定審査会

医師、保健婦、福祉施設関係者などから構成されます。市など人口が多い場合地域ごとに置かれることもあります。人口が少ない複数の町村が、広域で設置することもあります。判定には、公平性、透明性を確保していくことが求められます。

介護サービスを受けるには？

要介護と判定が出ると本人、家族は判定されたランクの費用の範囲内で介護サービス計画（ケアプラン）を作成することになります。プランは自分で作成もできますが、介護支援専門員（ケアマネー

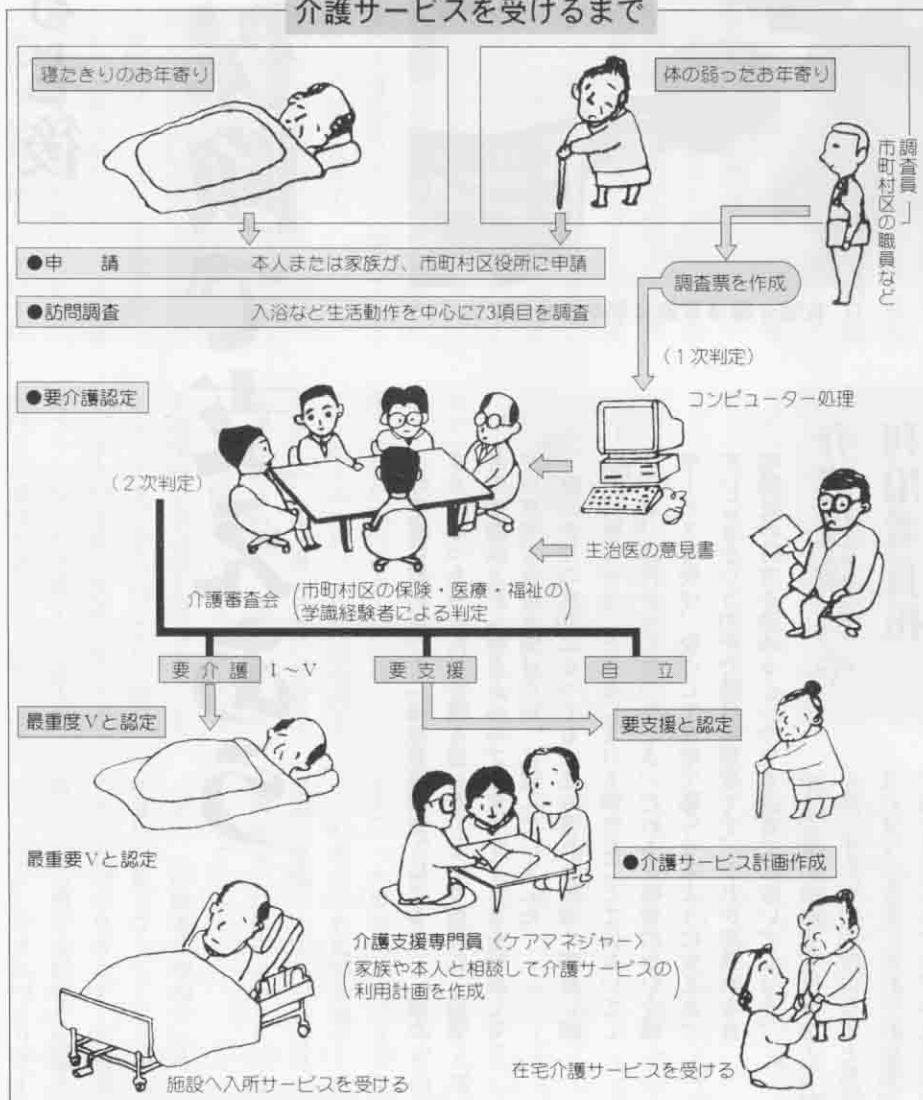
ジャー）に依頼し、相談しながら作成することもできます。依頼した場合の費用は保険から給付されます。

介護サービスは、ホームヘルパー派遣、看護婦による訪問看護、デイサービス・デイケア施設での入浴や機能回復訓練などを組み合わせたサービスが提供されます。六段階の判定で、いちばん軽い

「虚弱」ではおおむね週一～二回の訪問介護と週一回の訪問看護、週一～二回のデイサービス・デイケア、年一～二回のショートステイが受けられます。

最も重い「要介護度Ⅴ」では、毎日の訪問介護と週二回の訪問看護、週三回のデイサービス・デイケア、月一回のショートステイなどのサービスが受けられます。

介護サービスを受けるまで



施設介護	入所施設	自己負担額(月額)
	特別養護老人ホーム	47,000円
	老人保健施設	50,000円
	療養型病床群	61,000円

厚生省推計（平成7年度価格）施設サービスは食費23,000円を含む

	要介護度	身体の状態	自己負担額(月額)
在宅介護	<要支援> 虚弱	日常生活はできるが虚弱	6,000円
	<要介護> I軽度	入浴に困難を伴う	14,000～16,000円
	II中度	自力で起き上がりが困難	17,000～18,000円
	III重度	食事や排せつにも介護が必要	21,000～27,000円
	IV最重度	重度の痴呆などを伴う	23,000円
	V最重度	最重度の寝たきり	23,000～29,000円

介護保険制度では、在宅での介護が基本になりますが、「要介護度Ⅰ」以上になると希望により施設に入居して介護を受けることができます。

安心できる老後

介護保険で支えあう



在宅介護は家族にかかる負担が大きい

介護保険料と利用者負担

大事な財源となる保険料は、算定基準をこれから国が決めます。現段階で制度導入時点の見込みでは一人平均二千五百円程度です。四十歳から六十四歳の方の保険料は、それぞれが加入している医療保険と併せて給料から天引きされます。

厚生省の試算では、大手企業の健康保険加入者は平均三千四百円

昨年度に町が行った「福祉意識調査」によると、「寝たきりになったらどんな介護を望むか」という設問に、回答者の半数以上が「ホームヘルプやデイサービスを利用しながら在宅で介護を受けたい」と望んでいました。

寝たきりの状態になっても、住み慣れた地域で家族に囲まれて暮らせることがなによりも幸せなことではないでしょうか。寝たきりになったとき、だれもが格差のない介護サービスを受け、安心して自宅で暮らせるように支えあっているというのが介護保険制度です。これが将来的な在宅福祉の行方を決めるといっても過言ではないでしょう。

中小企業の政府管掌保険加入者が平均二千六百円程度になると見込まれます。なお、それぞれ企業が半額を負担しますので本人負担はこれらの半額になります。

国民健康保険加入者については、市町村の算定ルールで保険料が決まりますが、現段階の見込みでは二千五百円程度になり、半額は国が負担します。

六十五歳以上の方は、所得別段階別に五段階の定額保険料になり、年金の月額が三万円以上の場合、年金から天引きされます。そのほ

かについては、町が個別に徴収します。六十五歳以上については、国の半額負担はありません。

介護サービスを利用した場合の利用者負担は費用の二割です。利用者の負担総額が一月で一定の上限を越え、超過分は町から本人に償還される「高額介護サービス費」制度が設けられます。

低所得者の支払い上限額は、さらに低額に設定されることになっています。

介護保険料の見込み額（厚生省試算）

★65歳以上の方

基準額	2,500円
老齢福祉年金受給者	1,250円
住民税非課税(世帯)	2,875円
住民税非課税者(本人)	2,500円
住民税課税者	3,125円
住民税課税者(高額)	3,750円

★40歳～64歳の方

健保組合加入者	3,400円
政管健保加入者	2,600円
国保加入者	2,500円



企業や国が半額を負担しますので本人負担はそれぞれ半額。

町の在宅福祉は？

町の社会福祉協議会では、寝たきりの老人がいる家庭やひとり暮らしの老人家庭をホームヘルパーが訪問し、日常生活のお手伝いをしたり、話し相手をしたりしている訪問介護（ホームヘルプ）事業を行っています。これは在宅福祉の柱の一つになっています。

また、特別養護老人ホームに委託して行っているデイサービスは、一日入所して入浴や給食のサービスが受けられ、介護者の負担軽減につながっています。

介護者が疲労や病気のために介護できなくなった場合に、特別養護老人ホームに短期間入所できるショートステイの利用者も増えてきています。

町内には、このようなサービスをまだ利用していない方は相当数います。平成十二年度から介護保険制度が導入されることによって、四十歳以上の国民はだれもが介護保険料を納める義務を果たすことになります。また同時に、介護が必要な状態になった場合それに応じた介護サービスを受ける権利を持つことにもなります。さらに、サービスの中身について、質の高いサービスの要求が高まってくる

新ゴールドプラン による整備状況

厚生省が平成十一年度を目標に策定している、高齢者保健福祉推進十か年戦略（新ゴールドプラン）による八年度までの整備状況は、全国的にホームヘルパー（整備目標十七万人）は目標の約七割、デイサービス・デイケア施設（整備目標二万七千か所）は六割、老人訪問介護ステーション（整備目標五千か所）や在宅介護支援センター（整備目標一万七千か所）は整備目標の五割に達していないという状況です。新ゴールドプランの整備目標が、介護を必要とする高齢者の四割が利用することを前提にして策定されていることを考えると、目標年度までに一〇〇％達成されたとしても全体をカバーすることはむずかしいといえます。

求められるサービス 提供はできるのか

市町村では、公平な認定を行うための審査体制をつくる一方、基準に合わせて施設や専門スタッフの確保など整備水準を引上げてい

かなければなりません。

現在の施設やホームヘルパーの状況から、介護保険料を納めている被保険者が、介護が必要であると認定されても基準どおりにサービスが受けられるのか。また、保険料に加え、基準を超えた介護サービスの費用は自己負担になり、すので、年金収入で生活している高齢者には重い負担になるのではないのか、という不安があります。こうした課題や懸念される点を踏まえて、必要な介護サービスの提供をめざした介護事業計画の策定や市町村における保険料の条例化などをすすめることになるでしょう。

市町村の 体制づくり

平成十二年からの介護保険制度スタートを前に、市町村は提供するサービス内容について一定の基準を示した国の基本方針に基づいて、ホームヘルパーや特別養護老人ホームなど介護に必要な基盤整備の状況に応じて、提供できるサービスの種類、回数などを定めた介護保険事業計画を策定することになります。さらに、これと併せて、本人や家族の相談に応じて介護プランなどを作成する介護支援専門員の養成を急ぐことになりま

す。そして、平成十年度には、各市町村がモデル事業などをすすめ、平成十一年六月を目標に介護認定審査会を設置、十月から要介護認定審査の作業に入れるよう準備がすすめられます。

寝たきりを減らす 努力も大切

介護保険制度が導入されるといっても、健康で長生きできることがなによりです。健康づくりや保健婦の訪問指導などによって、寝たきりになるのを予防し、減らしていく努力が大切です。

そうした努力にもかかわらず寝たきりになったときには、気がねなくホームヘルプやデイサービスなどの介護サービスを利用していくことが、本人のためであり、介護者の負担を軽くすることにもなります。これからどんどん増えてくる介護サービス需要や質的向上といった要求に対応できるように、町をはじめ民間介護サービス機関の整備がすすんでいけば、福祉の充実した住みよいまちになっていくでしょう。

また、高齢者の増加でいろいろな負担が重くなってくるというマインスマスはばかり考えず、高齢者が持っている豊かな経験や知識をプラスに生かしたまちづくりをすす

サービス施設解説

老人保健施設 病気の症状が回復期・安定期にあり、入院治療よりも、リハビリや看護・介護を中心にした医療を必要とする寝たきり老人などに、家庭生活をめざし、医療と日常生活サービスを提供する施設です。施設には療養室、診察室、機能訓練室、食堂、浴室等が設けられています。

八郷町にも二つの施設があります。「八郷プロバンス」（瓦谷）と「サンクグリーンやさと」（小倉）です。二つとも民間医療法人によるものです。

療養型病床群 長期にわたる療養を必要とする患者のための一群の病床として、病床の中から都道府県知事の許可を得たもの。長期にわたり療養を必要とする患者の生活面に配慮し、患者の身の回りの世話をする看護補助者を配置し、機能訓練室等の施設が設けられています。

め、一人ひとりが元気に輝ける社会環境をつくる努力も必要なのではないでしょうか。

アを活用した学習

システムの科学授業



テレビ画面を通して博物館の先生の説明を聞いてやってみると「わあ、見える見える」生徒たちは楽しそうでした

研究開発の 試行授業

このほどテレビ会議システムを利用して博物館や大学と学校を結んだ授業が柿岡中学校（中島武校長）で行われました。

東京上野にある国立科学博物館の吉武弘喜教育部長を中心とする研究チームが、平成九年度から十一年度まで継続して研究をすすめている「最新メディアを活用し、博物館の有する実物資料や情報を学校等の教育機関と有機的に広範囲に結びつける教育システムの開発」のなかの試行授業として行われたものです。

最近、子どもたちの理科・科学に対する興味が薄れ、いわゆる理科離れが目立ってきているといわれています。現在、学校教育では、映像やコンピュータなど新しい情報メディアを活用した学習が行われています。しかし、こうした学習の弱点として、実物資料の持つ質感、重量感、スケールが実感できないことがあります。

この研究は、博物館の実物資料を利用しながら、さらに新しい情報メディアを活用して大学などともネットワークで結び展開する学習方法の開発をめざしています。

電話回線のデジタル化によって、新しい情報メディアの活用はさまざまな分野に及んでいます。県内では、テレビ会議システム（フェニックス）を利用した保健医療の相談などがすでにはじまっています。教育の分野への活用が現実化すれば、遠隔地の学校でも高度な知識を持っている研究者の講義を受けながら、学習ができる画期的なものとなります。こうした学習システムの開発をめざした研究が、国立科学博物館の研究チームによってすすめられています。



実物の化石を使ったレプリカ作り、どんな作品ができるか楽しみ

（注）T T
ティーム・ティーチングの略。一つの教室で、複数の教師が協力してすすめる授業方法です。このシステムでは、遠い場所から共同で授業をすすめるという新しいT Tの方法です。これまでと違ったやりかたで関係機関がどのように関わって学習をすすめていくことが効果的なのか新しいT Tのありかたを探ることも研究の課題となっています。

国立科学博物館が、これまで行ってきた科学教育普及活動は、博物館が所有している教育用標本セットの学校への貸し出し、また、実物標本、展示資料を生かした博物館での職員と学校教師とのT Tによる学習などでした。これらは距離や時間等の制約のなかで、東京周辺の地域に限られ、広範囲に普及させることは困難でした。

いま研究がすすめられている学習プログラムは、電話回線I S D N（総合デジタル通信網）を利用したテレビ画面を通して、博物館の職員や大学の研究者の専門的なアドバイスを受けられ、また博物館が所有する豊富な実物資料と情報を活用して、遠く離れた学校の教室にいて学習ができるもの。

「国立科学博物館と大学と学校をネットワークで結ぶ科学教育プログラム」上野の杜発／科学学習」と名づけられ、楽しみながら科学への興味を深めるものでした。

科学を楽しむプログラム

上野の杜から発信

最新メディア テレビ会議

世界の情報をつかむ インターネット

パソコンを使って情報収集や発信ができる世界的ネットワークのインターネット、町の教育委員会や各小中学校のパソコンはインターネットに接続されています。

インターネットは、パソコンと電話回線をつなぎ、居ながらにして世界中の情報が手に入る便利な通信ネットワークです。ここに自分のホームページを設けてP R情報を載せ、世界中に伝えることができます。ホームページは、すでに開設している南中学校につづき、ほかの学校もこれからどんどん開設されていくことになるでしょう。

電子メールで情報を伝える

パソコンを使って情報伝達ができる電子メール、学校間の通信や問い合わせにも利用できる便利なもの。

パソコンで電子メールを送るには右表のアドレスにつなげば通信ができます。

八郷町教育委員会	beyasato@po.net-ibaraki.ne.jp
園部小学校	ssonobe@po.net-ibaraki.ne.jp
東成井小学校	snarui@po.net-ibaraki.ne.jp
瓦会小学校	skawarae@po.net-ibaraki.ne.jp
林小学校	shayasi@po.net-ibaraki.ne.jp
恋瀬小学校	skoise@po.net-ibaraki.ne.jp
芦穂小学校	sasiho@po.net-ibaraki.ne.jp
吉生小学校	syosyu@po.net-ibaraki.ne.jp
柿岡小学校	skakioka@po.net-ibaraki.ne.jp
小幡小学校	sobata@po.net-ibaraki.ne.jp
小桜小学校	ssakura@po.net-ibaraki.ne.jp
朝日小学校	sasahi@po.net-ibaraki.ne.jp
園部中学校	csonobe@po.net-ibaraki.ne.jp
有明中学校	cariake@po.net-ibaraki.ne.jp
柿岡中学校	ckakioka@po.net-ibaraki.ne.jp
南中学校	cminami@po.net-ibaraki.ne.jp

給食は味わって食べていますか？



塚谷吉行先生

今月は、柿岡中学校の塚谷吉行先生を訪ねました。

先生は小幡の十三塚の出身、二年五組の担任です。部活は自分も得意とするバレーボール部を持っています。また、趣味はスキーとのこと。生徒たちについて先生は、「農村特有ののどかな環境の中で育っていますので多少のんびりしていますが、すれたところが無い、中学生らしく素直な性格をもっています」また、先生自身も、「柿岡中には、九年間お世話になつていますが、環境に恵まれた中で心地よく暮らさせてもらっています」と充分に力が発揮できる環境に満足しているようです。

中学校の三年間のうちで二年生のころがいちばん気持ちがいい時期。気持ちの引き締めが大事な学



2年5組の3人がインタビューに協力してくれました

年を受け持つかわら、顧問をしているバレーボール部を、毎年県大会出場まで勝ち上がれる実力あるチームに育てています。

「勉強でも遊びでも、何事にも本気になって取り組む姿勢が大事」と語るなか、楽しむ時は楽しむ、やらなければならぬ時は、気持ちを集中してやるという、クラスや部活での先生の指導方針が伺えます。その成果は、運動と勉強の両立はむずかしいといわれるなかで、バランスよく育っている生徒たちの姿に現われているようです。

生徒の皆さんに先生についてお聞きしたので紹介します。

Q 先生のいいところやすごいなところは何？

A 話しが面白い。生徒との会話の中などでつつこみがうまい。すごいのはしゃべりながらでも給食を食べるのがすごく早い。

Q 厳しいところは？

A 時間、約束事を守ることや他人の気持ちを傷つけないこと。給食の量にも厳しい。当然自分の分け前。

Q おもしろい話などは？

A きれいな先生の机の中から、給食の残りの調味料が出てくる。(保存期限は守って整理される) 足りないときに便利です。

Q クラスで守っていることはありますか？

A うそはつかない。時間を守ること。

Q 先生へのお願いは？

A 先生が班長の厳しいきまりがある第六班は、なくしてと言いません。きまりの中身は改善できませんか。

AET (英語指導助手)

イングリッシュコーナー

Recently, there have been some problems in Japanese schools. Three incidents of stabbings within a week. I think this is very shocking to many Japanese people. It's sad and its alarming. I must say, however, that I'm not surprised by these recent happenings.

There are so many things I like and respect about Japanese schools and the Japanese Education system. But probably the biggest problem and biggest frustration I have as a foreign teacher here is lack of discipline. I'm always frustrated that Japanese students are not punished for sleeping in class, for talking in class, for being disruptive, or for not doing homework. Japanese teachers say they must always encourage students, be kind to them, and be friends with them. Japanese students are sometimes spoiled by this, they can do many things that might be bad, they know they won't be punished.

I've read in the newspapers that now many prefectural government but Japan needs to think about changing the attitude about discipline in schools, or these problems will only get more and more serious. Also, the government has said it wants to classify knives as "harmful plaything".

That is very wrong! Knives are weapons, not playthings or toys! Japan needs to acknowledge that and it's new problem before more incidents occur.

Alexis Pillsbury

今月はアレキシス先生が日本の教育の場で起こっている問題について率直な考え方を書いてくださいました。翻訳は南中学校の飯塚恵美子先生にお願いしました。

最近、日本の学校ではいくつかの問題を抱えています。この一週間以内に起きた3つの刃物を用いた事件等、その現れだと思えます。これは多くの日本人に大きなショックを与えました。そして、悲しむべき、驚くべきことでした。しかし、私はこの一連の事件にそんなに驚きを感じていないと言わざるを得ないのです。私には日本の学校や日本の教育制度が素晴らしいと思うこと、また、敬意を払いたいことがたくさんあります。

しかしながら、概して、私はAETとして働いていて最も問題であり、最も大きく失望を感じることは、嫉妬が不十分だと思ふのです。日本人学生たちは、授業中意欲をなくしていたり、話していたり、授業を中断させるようなことをしたり、また宿題をやったことがなかったりしても、それほど強く叱られないのを見て私はいつもがっかりさせられます。日本の先生たちは、彼らに注意しながらもそんな学生たちを励ましてやさしく抱え込み、彼らと友達のように親しみをもって接しようとするのです。

日本の学生たちは、こんなことで甘やかされ、駄目にされていることもあると思います。彼らは、どうせそんなに責められる訳ではないからと言って、さらに悪さをするということになっているのです。

新聞で読みました。いまでもの県レベルの行政で若者のナイフ所持の禁止を考えているそうです。これがひとつのきっかけになっていくことを望みます。しかし、日本は学校での刃物の在り方について考える必要があると思います。でなければ、これらの問題はさらにもっと深刻になっていってしまうでしょう。また、行政段階で、ナイフを「有害な玩具」として指定しようとする動きがあるようですが、それは違うと思います。ナイフは武器です。玩具、遊具の類ではありません。武器であることを認識しないとさらに新しい事件、今の事件以上のことが起きかねないと思います。日本は、その認識を新たにしていく必要があると思います。

アレキシス ピルズベリー

寒さに負けず 870人が力走



ジョギングコースには、一般または幼児や小学1、2年生の親子およそ80人が参加し、1kmのコースを走りました。冷たい風の中でも、体はぽかぽか暖まりました。

第21回町民マラソン大会が1月28日、総合運動公園をスタート・ゴールとして開催されました。大会当日は、冷たい北風が吹くなかにもかかわらず、親子ジョギングコースをはじめ、各コース合わせて約870人の参加がありました。

なお、各コース三位までの入賞者は次のとおりです。

◆2kmコース

小学3・4年女子 ①鈴木美佐子(林小) 9分13秒 ②荒井美貴(東成井小) ③塚田敬子(葦穂小)

◆10kmコース

一般男子 ①三輪功(鯨岡) 35分38秒 ②小松崎邦明(柿岡) ③久保田啓一(山崎)

敬称略

◆5kmコース

中学男子 ①細川孝之(園部中) 17分40秒 ②真原辰郎(園部中) ③皆川友行(園部中)

一般男子 ①舟橋典雄(柿岡) 18分37秒 ②角田英樹(岩間町) ③岡野章一(吉生)

壮年男子50歳以上 ①仁平森義(小幡) 12分30秒 ②笹沼登(下林) ③岡野佐エ(小屋)

◆3kmコース

小学3・4年男子 ①市塚知宏(柿岡小) 8分4秒 ②小池代樹(柿岡小) ③大関洋平(朝日小)

小学5・6年女子 ①恒広一世(柿岡小) 8分22秒 ②久保田優美(林小) ③鴻巣亜由美(朝日小)

一般女子 ①足立由美子(柿岡) 8分53秒 ②鴻巣千恵子(小野越) ③奥沢美智子(宇治会)

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

春を告げる フラワーフェア



「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは、3月8日から15日まで展示販売温室を中心に、「フラワーフェア」を開催いたします。

期間中、主な催し物として、『草花展』を3月8日から14日まで、春の到来を告げる草花(プリムラ類・サイネリア・スイートピー・マーガレット等)3千点以上で創作展示し、観賞して頂きます。

展示品は、15日の13時30分から、お客様参加による『オークション』にて即売いたします。また期間中、平日先着百名様、日祭日先着2百名様に「グラジオラス」の球根をプレゼントいたします。

土日祭日は、1回50円で『球根のつかみ取り』を、8日の13

時30分からは、『春植え球根の育て方』の園芸教室を開催いたします。15日の11時から14時から、バラの花などを使った「卓上花」の作り方についての「フラワーデザイン教室」を参加無料で開催いたします。なお、講習会にてお作りになりました作品は、記念としてお持ちになれます。

15日の13時からは、『特別園芸教室』として、春植え球根の育て方の講話を開催いたします。お子様からお年寄りの方まで楽しめる催し物をご用意しておりますので、多くのご来園をお待ちしております。

開園時間は午前9時から午後5時(入園は午後4時30分まで)です。詳しいお問い合わせは ☎ 0299-42-4111 まで。

八郷の住まい探訪

(前)

オモヤとハナレ

JRの広報紙『ジバンク』(一九九五年三月号)の誌頭を飾った「民家のある風景・木崎家の梅」の記事があります。素晴らしい反響を呼びました。八郷の住まいの魅力が充分に紹介されたのです。

堂々とした薬医門の正面にオモヤ、そしてその左手にハナレ。両方とも重厚な茅葺屋根なのです。時はまさに立春。中庭の白梅の馥郁たる香りが匂い立つようです。訪れる人に無限の郷愁を与えてくれます。まさに郷土の住まいの原風景がここに展開されています。

「東京にいる大学生の孫が、この茅葺の家は大切な宝物だ、と言ってくれます」奥さんが本当にうれしそうに語ってくれました。そして手書きの年中行事の「一覧表」を見せてくれました。数十項目の行事をひとつずつ丁寧に織り込んだ生活を大切に作るココロが伝わってきます。毎日が楽しい、と言われるお顔は輝いていました。

この探訪の最初に、イギリスのチャールズ首相の名言をご紹介しました。「人が家を作り、家が人を作る」ここにその良いお手本を見ることが出来ます。

私をはじめてご当家を訪問した時の情景が思い出されます。屋敷内の湧水池に何とカワセミが飛来したのです。白鷺も来るそうです。裏山にはキツツキも住みついている、と言われます。

この様に屋敷全体の隅々にまで自然環境が保全されているのです。これには何代にも亘る方々のココロ配りがあったからに違いありません。そして次の世代にも間違いなく受け継がれて行く事でしょう。

茅葺屋根の維持は、並大抵の力では出来ないご時世になりました。かつては、「結」という相互扶助の組織が機能していました。二宮尊徳翁は、農村復興の手掛りとして共同して汗を流す屋根普請を重視しました。力を合わせて葺き上げた屋根は、文字通りの結束の美そのものの表現であったのです。

これを現代に継承させる知恵を出し合いたいものです。様々な困難は当然あることでしょう。かつての共同草苅り場であった茅場の管理組織も崩れてしまったかも知れません。けれどもそれを乗り越えたところには何にも替え難い程の



木崎家の全景(青柳)

成果が待ち受けているのです。

この八郷が他の地域に誇れる財産のひとつに庭園があります。本当に素晴らしいお庭が多いのです。個人のお宅に立ち入ってお庭を拝見するのは、どうしても遠慮の念が働いてしまいます。あるいは日時を限定する等の知恵があっても良いでしょう。四周を山に囲まれたこの広大な盆地のそこそこに魅力溢れたお庭があるのです。それを多くの人に知って貰いたいものです。必ずや人気沸騰の観光コースになるでしょう。地形を上手に活かした住まい方のお手本がここにあるのです。懐の深さを感じさせてくれます。

町文化財保護審議会委員 一色史彦

最近気になる病気

呼吸器疾患と吸入療法

石岡市医師会病院

呼吸器内科 木口俊郎医師



日本では以前より薬と言えば飲み薬が中心で、吸入薬は欧米のようにあまり一般的ではありませんでした。しかし最近では、呼吸器の病気、特に気管支喘息や肺気腫などでは、吸入療法を積極的に行うべきだと考えられるようになってきました。このように吸入療法が普及してきた背景には、吸入薬の長所が認められるようになったからと考えられます。

吸入薬は飲み薬と比べて薬の効果が早く、いつまでも身体に残らないので、結果として副作用が出にくいこと、携帯用の吸入薬はいつでもどこでも簡単に使用することができ、しかもいつも一定量を安定的に噴霧できるという理由から、喘息などの初期治療には最も有効とされています。にもかかわらず、あまり積極的に使用されないのは、いくつかの問題点があるからだと思います。まずマスキングで副作用が出たと大々的に報道された

ことにより、非常に怖い薬という印象を持たれてしまったことです。これは使用法を誤って多量に使ったためであり、正しい使用法を守ればむしろ飲み薬よりも安全といえます。次に使い方を熟知していないことです。吸入薬は飲み薬と違って上手に吸入できなければ、ほとんど効果がありません。吸い方が悪いため効果が無いのを薬が効かないと判断してしまつて途中で中断したり、逆に効果が弱いと錯覚して大量に使用して副作用が出してしまう人が多いようです。これには医療者側にも問題があり、正しい吸入の仕方を直接指導する補助器具を使う、などの対策が必要と思われる。実際、薬の量を増やさず、吸入の方法を見直すだけで症状が改善した人がたくさんあります。吸入療法は子どもや老人でも正しい使い方を覚えるのが難しいことではありませんので、現在吸入療法を行っている人は正しく使用しているかどうか一度確認してみると良いと思います。

わたしの手料理

まほろばの郷の味



食生活改善推進員連絡協議会

今回、初の試みとして「まほろばの郷の味」というテーマで郷土料理を考えました。そのなかから二品ご紹介します。写真：芋がらご飯(左下)呉汁(右下)、ゆずようかん(中)、芋がらの酢の物(右中)、納豆天ぷら(左上)、柿の白和え(右上)

【呉汁】●材料 戻し大豆 $\frac{1}{2}$ カップ ほうれんそう60g 味噌60g だし汁 $4\frac{1}{2}$ カップ●作り方①大豆は、一晚、水につけてもどしておく。②戻した大豆は、すり鉢でよくする。③ほうれんそうはゆでておく。④だし汁に味噌を入れる。⑤最後に、すりつぶした大豆を入れ、10分位弱火で煮る。【柿の白和え】●材料 干し柿2個 木綿豆腐1 $\frac{1}{2}$ 丁 りんご300g 白ごま大3 砂糖大3 塩小 $\frac{1}{2}$ ●作り方①干し柿はせん切り、りんごはせん切りにし塩水にさらす。②豆腐はくずして茹で、ザルにとって7分通り、水を切る。③豆腐の熱いうちにすったごまと砂糖・塩を入れ、すり鉢でよくする。④干し柿と水気を切ったりんごを③に加える。

わが家COOL

真家

本多由佳ちゃん

父 豊さん 母 博子さん

平成7年3月18日生まれ

♥家族からの一言

食欲旺盛な元気な女の子です。ブランコやスベリ台が大好き。音楽に興味があり、歌やダンスで家族を楽しませてくれます。四月から幼稚園に通うので、ちゃんと行けるかなと、ちよっぴり心配です。誰にでもやさしく、明るい子に育ってほしいです。

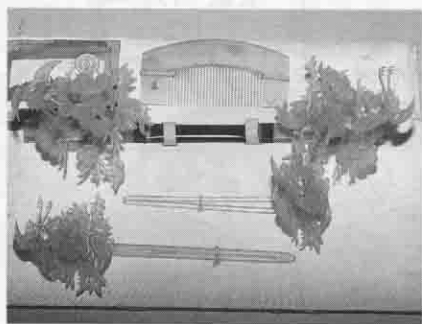


農村資料館

八郷の民俗資料

②③

簪(かんざし)



簪は「かみざし」を意味し、櫛とともに女性用の髪飾として、洋髪が流行する大正時代の頃まで、いわゆる日本髪(髪飾品)として多用されていた。簪の歴史も古い。人類が原始生活を送っていた頃に草木の花などが髪飾として用いられていたようであるが、それには原始宗教の呪術的な意味合いが伴っていたものと考えられている。

わが国でも、縄文時代に営まれた貝塚から骨や漆器の櫛、たばねた髪をとめる簪(こうがい)のほか、貝、牙、角、玉、石、土を材料にして腕輪、腰飾、頸飾、耳飾などさまざまな装飾品が出土している。その他、植物質のものは滅失してしまっただが、木や草や毛皮や羽根、それにベンガラ(酸化鉄)などを装身具として用いていたらしい。

簪の祖型と考えられるものは、古墳の副葬品の中に棒状金属を中央部で打ちのぼして二つに折り曲げた「脚」のもので、現代の束髪のピンに類似するものと、細長い扁平な金属板から頭部、脚部をつくりだし、形状的には櫛に似ているものがある。

簪の出土例が意外に少ないのは、実用的な木竹製のものがあつたとしても朽ち果て残らなかったためであろう。これらは釵子と呼ばれ、のちに金銀、糸花(造花)で装飾が加わり、整った形の簪へと推移していくのである。

律令時代の頃は、とくに、殿上人、高位、高官やその縁者などが儀式や節会の場に臨むとき、冠に生花をかざしたり、時には季節の花を頭髪にさしかざして楽しんだという。

鎌倉・室町時代における服飾生活にさしたる変化はなかったが、この様相が一変するのは江戸時代に移行してからである。各大名の統制のもとで城下町、街道の整備などが促進されて都市化がすすみ、商工業の発展による流通の活発化と相俟って、人々の往来も著しくなり、これらが背景となつて生活もしだいに華美となっていくが、この傾向は服飾面においても例外ではない。とくに、三都(江戸・大阪・京都)の遊郭、各地の宿場に生活する女性間の髪型に変化が起り、髪飾も独自の

の発達を遂げていくが、簪を髪にさす風俗が普及するようになるのは一八世紀の半ば以降である。そのころになって中差・後差・前差など一本に限らず二本以上さすようになり、葵簪・すすき簪・花枝簪・びらびら簪・竹簪・中差・徳利形中差・花紋中差などいくつもの簪があらわれ、当時の風俗絵本類にも描かれている。材料は、金、銀、べっこうなどがあてられ、日本髪にふさわしい髪飾として華やかさが強調された。その反面、たびたび行われた幕府の政治改革では「ぜいたく品」として扱われ、金銀材料の使用と売買の停止が布達されている。

明治時代になってから旧幕時代の諸制度が解かれると簪の材料も自由化され、新たに真珠や珊瑚、プラチナも使用されるようになった。しかし、風俗の洋風化・近代化に伴う洋髪の流行は日本髪にも影響し、広く愛用されてきた簪もしだいに衰退していくのである。

町文化財保護審議会委員 西宮 一男



小幡 仁平 洋子 (13)



ウテナ



山崎 滝田 恵 (11)

きこちゃん
ひとえ

東成井 高野 曜 (12)

私
も
ひとこと

私の婚家も間取りは田の字型です。広い板敷の空間は今ではたまたまが涼しいですが、冬は部屋の中でも氷がはります。高校生になる娘は広い土間に部屋を作ってほしいといっています。でも私は、この広い空間がとても好きです。

♣ 最近田の字型の間取りの家が少なくなりました。一色先生執筆の八郷の住まい探訪は、様々な建築が紹介され、興味深いですね。

私 はことし「年女」です。一家に同じ千支が三人いると良いと聞きますが、わが子は丑三人。主人は亥、とうてい寅一人は無理ですね。

♣ 一家に同じ千支が三人揃うという
東成井 長谷川麻記

評

(財)独立書人団審査会員 翠晶書院 関 翠邱

幼年 佐谷 美紗貴

幼
ゆめ
佐谷美紗貴

書道は中国と日本古来の文化ですが、かなは日本だけのもの。幼心に書くかなはすばらしい。

葦穂小六年 白井 智章

六年
新年
白井 智章

左利きが右に替えるため、長い間黙々とがんばったとのこと。辛抱と努力の結晶といえる秀作。

のは珍しいと思います。わが家はそう
だという方、お便りください。広報係
十二月の公民館まつりに、皆と一
緒に私も月岡婦人学級受講の手
提け袋を出品いたしました。なかなか
まとまらず苦労したのを思い出しながら、その展示品をいとおしくながめま
した。聞きますれば、婦人学級として
活動しているのは八郷町で二か所のみ
とのこと。この月岡婦人学級も先にた
つ馬場幸子さんの、講師の方の確保時
間をかけず、誰でも美しく仕上がるも
のをとの配慮と骨折りにより長く続い
ているものと思います。特に若い人達
と共に私ども年配の人達にも毎回声を
かけてくださいます。老いも若きも其
に学ぶことのできる、これが生涯学習

の理想の姿ではないでしょうか。この感謝の気持ちを他の皆様にも伝えたく筆を取りました。月岡 高橋修子(73)
♣ 現在、生涯教育が盛んに言われていますが、実際に長く続けるのは難しいと思います。それにもかかわらず長く婦人学級を続けてこられたことは、関係者の方々のご尽力に寄るものと思われまふ。これからは皆さんで楽しく続けていくべきです。

私 はエレクトーンを一曲おぼえた
いと思っています。だれか教え
てくれませんか。 瓦会 葛田照夫(60)

♣ エレクトーンを教えてあげられる方はご連絡お願いします。または、エレクトーン教室などに通ってみたいかがでしょうか。
広報係

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 119

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①介護保険制度が開始されるのは
いつから？

- (A)平成11年4月
- (B)平成12年4月
- (C)平成13年4月

②テレビ会議システムで試験的に
授業を行っている学校は？

- (A)柿岡中学校 (B)南中学校
- (C)有明中学校

③町民マラソン大会で一番距離が
長いのは何kmコース？

- (A)10kmコース (B)15kmコース
- (C)20kmコース

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ119と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成10年3月20日

☆応募先 〒315-0116 八郷町柿
岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙4月号

〔広報クイズ117の当選者の発表〕

正解は1-B、2-A、3-Cでした。
応募総数45通、正解45通の中から
次の10人が当選しました。

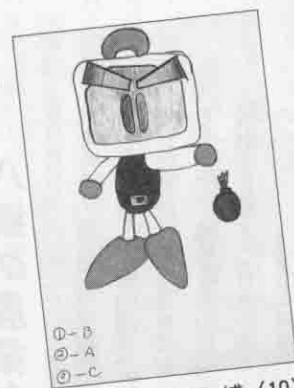
羽生裕子(上青柳) 入江衛(大増)
桜井房子(小幡) 上野範子(小屋)
菱沼由佳(東成井) 鳥田照夫(瓦
谷) 木村はる江(上曾) 奥村友紀
(山崎) 桜井節子(半田) 萩原照
子(月岡) [敬称略]



東成井 菱沼 由佳 (12)



下林 飯塚恵理奈 (7)



上曾 臼井俊博 (10)

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

三世代七人家族でにぎやかに元旦の朝を笑顔で迎えり

山崎 荒井弘子

夕鳥ねぐらめざして鳴き帰るふと口ずさむ夕焼け小焼け

川又 木村せつ子

此の年も牛の歩と暮れゆきて豊作貧乏永雨そは降る

東成井 小池 亀太郎

俳句

綿引鼓峰選

寄贈者の名削うすれて梅咲きぬ

下林 佐藤繁子

枯草に埋れて石の道標

青田 田上岳尾

頂の柿まで梯子とどかさる

山崎 小松みき

俚謡

鈴木弦月選

握る手と手に心が通う介護する人される人

柿岡 上曾 醉人

不況風吹きや心も縮むせめて笑顔のある暮らし

山崎 井川 正男

岩に砕けて散る波しぶき蟹は瘦せ行く月の涙

上林 大久保 筑峰

やさとメモリー



第六回町民武道大会での弓道。
まだ弓道場がなく、青空の下で
技を競い合っていました。(昭和
四十一年当時)

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
（連絡先・秘書広聴課 内線一三四三）

おいしいお餅がつけたよ

一月二十一日、恋瀬保育所で餅つきが行われました。父母からもち米の寄付があったため、臼と杵は借りてきました。べったん、べったんと、子どもたちは初めて行う餅つきに大喜び。順番を待ち

きれないようでした。
つきあがった餅は、あんやきなこ、納豆などをからめ、みんなに配られました。子どもたちは自分たちでついたおいしい餅に舌鼓を打っていました。

斎藤重夫さんに福祉・文化顕彰

財団法人常陽新聞厚生文化事業団の福祉・文化顕彰の表彰がこのほど行われ、町から柿岡の斎藤重夫さん(82)が顕彰を受賞しました。同顕彰は地域の福祉・文化の向上などに顕著な活動をしている個人や団体に贈られているものです。

斎藤さんは、カメラ店を営むかたわら、

その技術を生かし、町老人大学の卒業生一人ひとりに、「卒業記念写真」を三十五年間にわたり贈り続けてこられました。その人数は、第一期から六十九期まで二千九百十六人にのぼり、卒業したお年寄りの皆さんから大変喜ばれています。

八郷の農業を担う後継者を表彰

今年度の優良農業後継者の表彰式が一月二十六日、役場会議室で行われました。これは農政活動推進本部が毎年行っているもので、地域農業の担い手となる農業後継者を励まし育成を助長するため、他の模範となる優秀な後継者を表彰してい

ます。今回表彰されたのは次の方々です。

○比企正男(44)加生野 水稲

○吉田則久(88)中戸 水稲・椎茸

○久保田一博(24)山崎 水稲・小麦・ハウ

スキュウリ

(敬称略)



前列左2番目から、久保田さん、比企さん、吉田さん

ありがとうございます

○園部中学校へ絵画一幅

東成井 大和田静子

○華穂小学校へ書籍二四〇冊、記念樹一本

岩間町 茅根弘一

県国民年金協議会長から表彰

東山崎第七納税貯蓄組合がこのほど、国民年金事業優良団体として表彰されました。国民年金事業推進の功労が認められたものです。



水毛孝子(下林19歳)さん

看護婦をめざして勉強中です。趣味は特にありませんが、旅行に行きたいなと思っています。

ときめき
ティータイム



将来のまちづくりに向けて

町主催の「一九九八新春まちづくりシンポジウム」が一月十七日、役場会議室で開催され、およそ百人が参加しました。シンポジウムは「緑豊かな自然環境を活かし、八郷らしいまちづくりを進めるために、八郷町として何をすべきか」を町民の皆さんとともに考え、まちづくりの輪を広げていくことを目的としています。まず町長、都市計画課長のあいさつに

続き、都市計画プランナーの野口和雄さんの講演が行われました。「まちづくり条例の必要性」と題し、真鶴町の具体的な例を挙げながら話が進みました。次にパネル座談会として「八郷町のまちづくりを考える」をテーマに六人が参加。それぞれの立場から、八郷の良さを残した魅力あるまちづくりについて語り合いました。

晴れの門出賑やかに

一月十五日の「成人の日」、町では成人式典が中央公民館で行われました。式典では町長の式辞をはじめ、成人証書と記念品の授与、県会議員・議長・教育長らの祝辞が述べられ、成人者の晴れの門出を祝いました。

この日はきのうから雪が降り続き、あ

いにくの天気となりましたが、新成人四百七十二人のうち、およそ六割が式典に出席。会場は、晴れ着の女性やスーツ姿の男性で華やかな雰囲気包まれ、学友との再会に話を弾ませている姿が、あちこちで見受けられました。

黒部峡谷の大滝を完登

柿岡の本図一統さん図がこのほど、黒部峡谷の剣沢大滝を完登しました。黒部峡谷は日本一深い峡谷として知られており、大滝は幻の滝とも言われ、登るのが非常に難しく、これまでに完登したのは数人しかいないそうです。

本図さんが登ったのは昨年の八月。大

変だったのは、水量が多いと登れないため、天候の安定を待たなければならなかったこととか。完登には技術と経験、そしてなお運が必要だということです。完登したときの感想を聞くと、「七回目で成功しましたから」と本図さん。この言葉にその時の感動が伺えました。



節分の豆まきですんで暦のうえでは春。一つ歳をとりました。

いつの間にか自分の歳も不惑を過ぎていたのではありません。幼きころ、四十を過ぎた大人がひどく老けていると見えたのは私ばかりではないでしょう。いま自分がそんな歳になった風体は、小さい子どもたちにはひどいおじさんに見えるのでしょうか。しかし、人生をまっとうする年数(寿命)はいまや八十年を過ぎています。それから考えるとまだまだ半分。

町の百寿会という老人組織にはこんな合言葉があります。

五十、六十鼻たれ小僧、七十、八十花ざかり、九十になって迎えがきたら、百までまてと追い返す。豪快です。これからすると、四十などは話しにもならないよちよち歩きなのでしょう。

六十歳の定年を六十五歳に引上げて行こうかという相談もはじまったようです。四十にして惑わずという論語の教えは五十にして天命を知った時代。しかし、いま天命を知るのには遠い先。自分なりに輝きながら歳を重ねたいものと、豆を食べながら考えました。(市)

自分で調べて学ぶ わが町八郷

生涯学習が盛んになってきている今、生涯学習課では、講師の話を一方的に聞く学習から、講座生が自ら調べて学ぶことを主体とした講座を開きました。「八郷の巨樹・老木を訪ねる講座」と「八郷町の年中行事を調べる講座」で、どちらも昨年六月に開講し、月一回の割合で集まりが持たれました。この講座では調査内容・方法などを講座生が自分たちで考え、足を運び、目と耳で確かめる現地学習が進められました。



このような巨樹・老木を自分たちで調査しました。
もし、皆さんが推薦したい巨樹・老木がありましたら、
生涯学習課（☎43-1111 内線1273）へご一報ください。

■八郷の巨樹・老木を 訪ねる講座

筑波・足尾・加波・吾国・難台の美しい山並みに囲まれた八郷町。その恵まれた自然環境のもとには、県や町の天然記念物に指定された巨木・老木、さらには家庭や寺社、学校、地域で風雪に耐え、黙々と年輪を刻んできた樹木がたくさん存在します。

そういった町内の巨樹・老木の実態を調査することによって、自然環境保全の大切さを再認識し、これを後世に伝えようと開講されました。

講座には二十二人が参加。まず、地区別に巨樹・老木のリストを作り、一件ごとに幹周や樹高、枝張りなどを測定したり、樹齢やその木の由来などを調査したりしました。そして八郷の巨樹・老木として四十件あまりを一覧表にまとめることができました。

受講された皆さんは継続して調

査し、できれば小冊子にまとめた
いと意欲を燃やしています。

講座に参加して



皆 藤 千 湧さん
(下林・61歳)

仕事から解放されたのを機に、
何か趣味らしいものと思って町
民講座に参加し、同好の人達と町
内にある巨樹老木を調査がてら見
て歩きました。個人の庭園や屋敷
林、寺社林などに目当ての太木を
訪ね、推定樹齢や由来を聞きなが
ら、三十メートルもの高さに及ぶ
ムクロジやカシ、周囲二十余メ
ートルに枝を拡げているシイ、幹
周り九メートル、樹齢千三百年
以上といわれるスギの雄姿を目
にしている、四方を山地に囲ま
れたこの風土の豊かな自然に改
めて深く感じ入った次第です。

■八郷の年中行事を 調べる講座

日本には昔から伝わる年中行
事が数多くあります。しかし、
人々の暮らしが大きく変化し、
行事の持つ意味が、その楽しさ

とともに人々の記憶から薄れつ
つあります。そこで日本人とし
て年中行事をもう一度見つめな
おし、その意味を問い直すこと
が求められています。郷土に対
する誇りと現在および未来の生
活の中に、心の豊かさを求めよ
うと講座が開かれました。

講座には十五人が参加し、地
域の古老に聞き取りをするなど
して、主にお正月の年中行事を
調査して歩きました。

そして、報告会を開いたり、
お正月の行事として『ならせ餅』
を実際に作り、中央公民館に飾
りつけたりしました。なかには、
自分の知らない行事もあったの
で、来年から自宅でやってみよ
うという講座生もいて、有意義
な学習となりました。



「ならせ餅」を作る講座生の皆さん